

議 事 録

会議の名称	岩倉市地域福祉計画推進委員会（令和7年度第1回）
開催日時	令和7年5月12日(月)　午前10時から11時35分まで
開催場所	岩倉市役所7階　会議室7
出席者	児玉善郎委員長　　　伊藤憲治副委員長　　　丹羽幸一委員 森　秀和委員　　　岡崎真大委員　　　田中愛子委員 山田育代委員　　　大井佳子委員　　　水谷寧志委員 福祉部長（佐野剛）　　　福祉課長（古田佳代子） 福祉課社会福祉グループ長（小南友彦） 福祉課障がい福祉グループ長（水谷正樹） 福祉課社会福祉グループ主査（浅井淳一郎） 福祉課社会福祉グループ主任（真野友貴） 長寿介護課長（浅田正弘） 長寿介護課長寿福祉グループ長（新中須俊一） 長寿介護課介護保険グループ長（石井陽平） 社会福祉協議会事務局長（若杉賢司） 社会福祉協議会主事（星野捺美）
欠席者	大藪かおり委員
説明者	福祉課社会福祉グループ主査（浅井淳一郎）
会議の議題	(1) 第3期岩倉市地域福祉計画の令和6年度進捗について
議事録の作成方法	☒ 要点筆記 ☐ 全文筆記 ☐ その他
記載内容の確認方法	☒ 会議の委員長の確認を得ている ☐ 出席した委員全員の確認を得ている ☐ その他（ ）
会議に提出された資料の名称	資料1　　岩倉市地域福祉計画推進委員会委員名簿 資料2　　評価基準について 資料3　　第3期岩倉市地域福祉計画　令和6年度進捗評価シート 参考資料　岩倉市重層的支援体制整備事業実施計画
公開・非公開の別	☒ 公開 ☐ 非公開
傍聴者数	0人
その他の事項	

1 あいさつ

2 議題

（１）第３期岩倉市地域福祉計画の令和６年度進捗について

事務局から資料２について説明。

委員長：昨年度と同じ評価基準となるので、お願いしたい。

事務局から資料３について説明

・基本目標１－施策（１）について事務局から説明。

委員長：事務局評価は、マトリックスの指標からＣとなっており、最低限の取組ができているという認識である。

新たな多世代交流については未実施になっているが、新たな事業の案はあったか。

事務局：多世代交流センターさくらの家が令和６年度まで市の直営であったが、令和７年度から指定管理で多世代交流に力をいれてほしいとしているため、今年度からは新たな事業ができると想定している。

委員長：それでは事務局評価を肯定し、委員会評価もＣとする。

・基本目標１－施策（２）について事務局から説明。

委員：ＳＯＳネットワーク事業について、行方不明者の写真が貼りついてしたが、発見後について個人情報で写真が残るので消すことはできるか。

事務局：配信後に消すことはできないが、写真を配信する際に家族の了承をしてもらってから配信している。

委員長：見つかった際には、写真の削除依頼をしたほうがよいと思うので検討をお願いしたい。

委員：ボランティア登録者数が減ってきている。ボランティア養成講座を開催しているが、新たなニーズへの取組はあるか。

事務局：点訳のボランティアや精神障害がある方へのボランティアの養成講座を検討している。

委員：昨年度のボランティア養成講座で要約筆記の実績が入っていないのはなぜか。

事務局：記載漏れであったため、追記する。

委員長：いきいき介護サポーターについて、定例が難しいため事業を終了したとあるが、今後の方向性についての記載と関係性が不明である。令和７年度以降のいきいき介護サポーターの事業名はどうなっていくのか。

事務局：いきいき介護サポーターはコロナ明けに登録者２５名にアンケートを実施したが、再開の希望は１名のみであったため終了となった。介護事業所へのボラン

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）

ティア活動の支援は引き続き続けていきたい。また、事業名称の表記は、今後検討していく。

委員長：事務局評価を肯定し、委員会評価はCとする。評価コメントは、事務局と取りまとめ再度委員に通知する。

・基本目標１－施策（３）について事務局から説明。

委員長：支会活動が少し減っているが、誤差の範囲内か。

事務局：内容は変わっていないため、誤差という認識で問題ない。

委員長：事務局評価を肯定し、委員会評価はBとする。

・基本目標２－施策（１）について事務局から説明。

委員：子ども食堂は何か所あるか。

事務局：現在岩倉市内には、岩倉市内には４カ所子ども食堂があり、そのうち助成金交付対象となった子ども食堂は３カ所ある。

委員長：事務局評価を肯定し、委員会評価はBとする。

・基本目標２－施策（２）について事務局から説明。

委員長：成果指標の設定がないシートであるが、取組は概ね順調に進んでいる。委員からの質問・意見もないので委員会評価も事務局評価と同じBとする。評価理由として、虐待に関する内容の記載も追記してほしい。

・基本目標２－施策（３）について事務局から説明。

委員：就労支援プログラムの人数は、累計か実数か。

事務局：実数である。

委員：社協の貸付件数が相談に対して少ないのは理由があるのか。

事務局：本当に貸付が必要かをその都度の相談に応じて判断している。また、食糧支援など他の制度につなげることもあり、結果としてこのような実績になっている。

委員長：事務局評価を肯定し、委員会評価はBとする。

・基本目標２－施策（４）について事務局から説明。

事務局：避難行動要支援者名簿について、半年ごとに更新しているが、最初は区長と民生委員でまわっていたが、それ以降していない。行政区への働きかけはどうなっているのか。

事務局：名簿の記載には基準があるため、半年ごとに見直しをしている。個人情報の提供同意は、任意であり本人の申し出も必要としている。

行政区によって取組に負担がかかる内容なので、市からは強く要望していない。

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）

委員：個人情報の観点から自主防災会にも共有できず、区長や副区長のみがもっている場合が多いので、区としても取り扱いが難しい内容である。

委員長：地域の安全は重要なことであるため、委員会評価としても事務局評価と同じDとする。

・基本目標２－施策（５）について事務局から説明。

委員長：内容を確認したところ取組評価としては、最低限というよりはプラスで取組ができているため取組３ではなく２でもよいのではないかと。

事務局：ご指摘のとおり成果指標が目標値を上回っているため、指標評価を３から取組評価を２とし、事務局評価をＡと修正する。

委員長：事務局評価を肯定し、委員会評価はＡとする。

・基本目標３－施策（１）について事務局から説明。

委員長：事務局評価を肯定し、委員会評価はＡとする。

・基本目標３－施策（２）について事務局から説明。

委員：指標評価について、ⅢではなくⅡでもよいのではないかと。

事務局：成果指標が目標値には達していないが昨年の数値よりは増加伸びているため、指標をⅡに修正する。

委員長：修正があっても評価Ｂは変更なし。委員会評価もＢとする。

・基本目標３－施策（３）について事務局から説明。

委員：単位施策２９が未実施であるため、評価は変更なしでよいかと。

事務局：単位施策２９の成果指標が目標に達していないため、取組評価を１から２に変更する。変更しても評価Ａは変更なし。

委員長：重層的支援体制整備事業が順調に推進していると思う。委員会評価も事務局評価と同じＡとする。

委員長：全体としても、概ね順調にすすんでいると思う。Ｃ評価やＤ評価については、来年度に向けて見直し等を行っていただきたい。

３ その他

事務局：次回の委員会は１１月頃を予定しているので、正式に日程が決まったら通知するのでご予定をお願いします。